

群 教 七	E01 - 09
	平21.241集

# 学校保健活動を 組織的に推進するための工夫

— 職員の共通理解を図る月別活動シートの活用を通して —

長期研修員 竹田 啓子

## 《研究の概要》

本研究では、学校保健活動の組織的な推進を目指し、職員の共通理解を図った学校保健計画活用の在り方を探った。具体的には、保健室経営、学校保健計画などの実態を調査し、その課題解決のための方策を探り、学校保健計画を具体化した月別活動シートを作成した。月別活動シートを保健部職員と作成し、職員の共通理解を図り活用することが学校保健活動を組織的に推進するために有効であったことを明らかにした。

**キーワード** 【学校保健 養護教諭 保健室経営 学校保健計画 月別活動シート】

## I 研究の背景と目的

中央教育審議会スポーツ・青少年部会学校健康・安全部会より「子どもの心身の健康を守り、安全・安心を確保するために学校全体としての取組を進めるための方策について」（2008）の答申が出された。その中で、「養護教諭は学校保健活動推進の中核的役割を担う」と明確に示され、校内職員と関係組織、地域の専門家や専門機関との協力と連携の重要性が示されている。そのために、企画力や連携能力を十分に発揮し、経営的視点に立った保健室経営を行うことが求められている。

保健室経営は、自校の教育目標及び学校保健目標などを受け、その具現化を図り、健康教育を推進するため計画的・組織的に運営することを目標としている。その営みの詳細を保健室経営計画（以下、経営計画と略す）として提示し、全職員の共通理解を図り、自校の健康課題解決に向けて、養護教諭が中心になり取り組んでいる。

また、この他にも児童生徒の健康増進を図るために、各種計画が作成されており、中でも学校保健計画（以下、保健計画と略す）は、年間を見通した学校保健に関する諸活動の中核となるものである。

学校は、各種計画に基づき、学校保健活動に取り組んでいるが、多様化、複雑化、深刻化している児童生徒の健康問題に対応できる保健計画の在り方について考える必要がある。保健室利用者が年々増加していることから、児童生徒の実態に即した学校保健活動の推進が重要と考える。

児童生徒の健康増進を図るため保健室経営で捉えた健康課題を解決するには、職員の共通理解の

もと学校保健活動を組織的に推進していくことが重要である。

特に、経営計画における自校の健康課題解決に向けた具体策を、児童生徒の健康増進を図るために計画されている保健計画に反映させ、学校保健活動の関連性を意識した取組の実践化を目指したいと考えた。

そこで、保健室経営や保健計画及び経営計画の実態について調査を行い、その課題を明らかにし、課題解決のための方策を探り、組織的な学校保健活動の推進を目指したいと考え、本研究を行った。

## II 研究のねらい

保健室経営、保健計画及び経営計画の実態を調査し、その課題解決のための方策を探り、学校保健活動を組織的に推進するための保健計画の活用の在り方を提案する。

## III 研究の内容

### 1 実態調査の実施

保健室経営、保健計画及び経営計画の実態を把握するため、センター研修講座参加養護教諭と協力校職員にアンケート調査を実施する。

### 2 実態調査を生かした実践

調査結果を集計分析し、学校保健活動推進上の課題を明確にする。明らかになった課題を解決するための方策を探る。

3 学校保健活動を組織的に推進するための工夫  
学校保健活動を推進するための保健計画の活用の在り方を提案する。

#### IV 研究の概要と結果・考察

##### 1 実態調査の実施

###### (1) 実態調査に関する基本的な考え方

児童生徒の健康増進を図るためには、養護教諭が学校保健活動の中核を担い、全職員の共通理解のもと、組織的な学校保健活動を推進していくことが重要である。

そのために、保健計画と経営計画の調整を図り、実行力のある保健計画を作成・活用したいと考えた。

そこで、本研究では養護教諭を対象に保健室経営と保健計画活用などについて調査を行い、現状と課題を明らかにする。あわせて、協力校の職員にも調査を実施し、双方の結果から学校保健活動推進上の課題を分析することで、課題解決のための方策を探るための資料とする。

保健室経営の実態については、保健体育審議会答申を受け、日本学校保健会で保健室の機能として示されている9項目について、調査を行った。

特に課題把握のため、次の4点を考察したいと考えた。

- 保健室経営の実態と経営計画活用状況との相関
- 保健室経営の実態と保健計画活用状況との相関
- 学校保健活動推進上の課題
- 保健計画を活用推進するために必要な資料

###### ① 調査対象

- 研修講座参加養護教諭 80人
- 協力校職員 20人

###### ② 調査内容

- 養護教諭対象

- ・経営計画の作成と活用状況
- ・保健室経営の実態
- ・保健計画の作成と活用状況
- ・学校保健活動推進上の課題など

- 協力校職員対象

- ・保健計画の活用状況
- ・経営計画の活用状況
- ・保健計画活用のために必要な資料

###### ③ 調査方法

質問紙法と聞き取りによる調査による。

##### (2) 実態調査の結果と考察

###### ① 養護教諭を対象とした調査の結果と考察

###### A 保健室経営の実態

保健室の機能9項目について、現在どのくらい実践できているかを4段階で自己評価してもらい、平均を求めた。その結果は、「健康診断、発育測定などを行う場としての機能」「救急処置や休養の場としての機能」などが高く、「健康教育推進のための調査及び資料などの活用・保管の場所としての機能」「健康情報のセンター的機能」「組織活動のセンター的機能」などが低かった。

(図1) 評価が低かった項目は、中央教育審議会答申で示された「企画力や連携能力を十分に発揮し、経営的視点に立った保健室経営」のための重要項目と重なる部分が多い。これらの機能を高めるためには、「組織的な活動」や健康情報センターとしての役割を果たすために「資料の保管・提供とその活用」などが必要であると考えた。

保健室経営が現在どのくらい実践できているか？	
4・・・できている 3・・・おおむねできている 2・・・あまりできていない 1・・・できていない	
保健室の機能	平均点数
健康診断、発育測定などを行う場としての機能	3.7
救急処置や休養の場としての機能	3.6
個人及び集団の健康課題を把握する場としての機能	3.2
疾病や感染症の予防と管理を行う場としての機能	3.1
児童生徒が委員会活動を行う場としての機能	3.1
心身の健康に問題のある児童生徒などの保健指導、健康相談活動を行う場としての機能	3
健康教育推進のための調査及び資料などの活用・保管の場所としての機能	2.9
健康情報センター的機能	2.8
組織活動のセンター的機能	2.5

図1 保健室経営の実態

###### I 保健室経営の実態と経営計画・保健計画との相関など

保健室経営の総合平均点は3.1で、標準偏差0.4であった。そこで、平均点が3.6以上を評価が高い群（以下、A群とする）、2.6以下を評価が低い群（以下、B群とする）とし、経営計画や保健計画との相関を調べた。

その中で、有為な差がみられた項目について分析する。

###### ○ 保健室経営の実態と経営計画との相関

経営計画は、95%の学校で作成されているが、記載項目は学校により差が見られ、特に評価項目を明記している学校は半数以下であった。

経営計画記載項目と保健室経営の実態については、「学校保健重点目標」「評価」について特に差が見られた。A群では、100%の学校で重点目

標の記載があるが、B群では42.9%であった。評価についても同様にA群では63.6%、B群では、14.3%と大きな差がみられた。(図2)

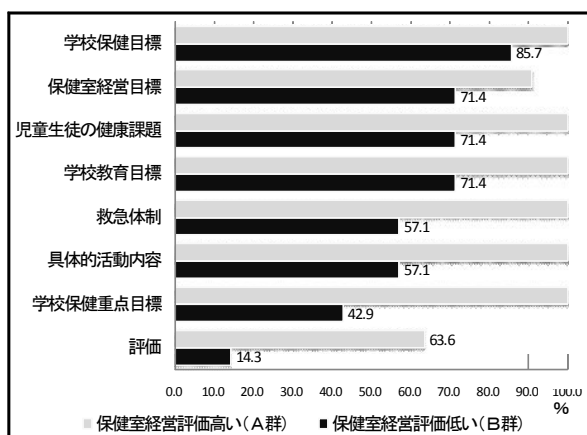


図2 経営計画記載項目と保健室経営の実態

これは、重点目標を意識して取り組むことや評価項目を明記することで、具体的にやすくなり、保健室経営の充実につながっていると考えられる。

また、特に評価を行うことで成果と課題が明確になり、得られた結果を次年度に生かし、経営の充実につなげることができる。反対に、健康課題解決のための経営計画が十分に活用されない原因の一つは評価が行われないことにあるのではないかと分析できる。

### ○ 保健室経営の実態と保健計画との相関

73%の学校で養護教諭が保健計画を作成していることがわかった。保健計画の共通理解と保健室経営の実態については、A群では職員会議で提案し、その共通理解を図っているが、B群の約半数は職員への配付にとどまり、特に共通理解を図っていないという回答が14.3%あった。(図3)

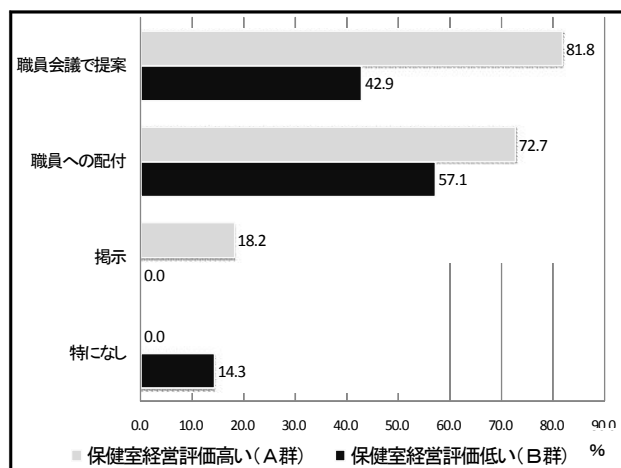


図3 保健計画の共通理解と保健室経営の実態

提案や説明の方法についても保健主事と連携を図り、全職員から各学年へと内容が浸透するように配慮することが必要であり、保健計画を全職員で共通理解することが、保健室経営の充実につながる事がわかる。

また、保健計画を意識する時については、A群では、「保健指導・保健学習」や「健康診断」など様々な場面で意識することが多いが、B群では、日常の保健活動では意識することが少ないことがわかった。(図4)

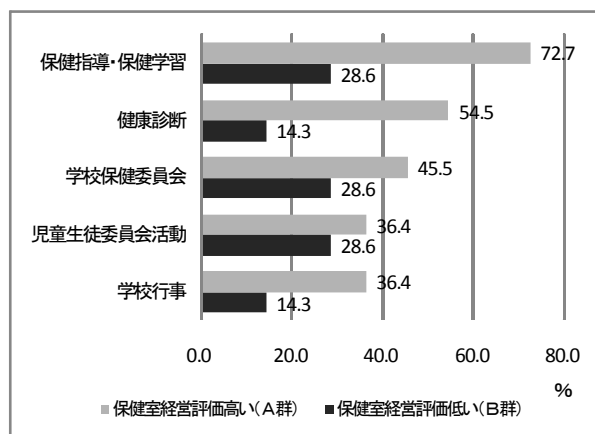


図4 保健計画の意識と保健室経営の実態

このことから、保健計画における指導内容や保健管理内容を確認しながら学校保健活動を行うことが、保健室経営の充実につながることがわかった。そこで、保健計画にはより具体的となるよう、いつ、だれが、何を行うのかを明記できるような様式の工夫も必要であると考えた。

### ウ 保健計画の評価と評価者

保健計画の評価を行っている学校は、60%であり評価者は、養護教諭のみの学校が多く、続いて保健主事やその他の教員とともに行っている学校が数校あった。(図5)

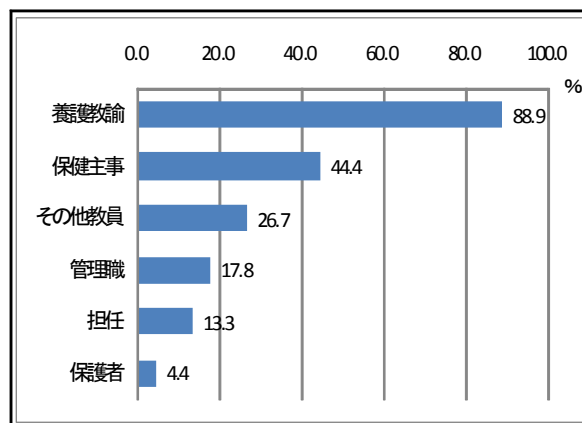


図5 保健計画の評価者

評価を実施することで、現状と課題を把握し、計画の修正を行うことができる。そこで、養護教諭自身の評価だけでなく、学校保健活動に関わる職員全員で評価することにより学校保健に対する意識を高めたり共通理解を図ったりすることができると思う。

#### エ 学校保健活動推進上の課題について

学校保健活動推進上の悩みや課題を自由記述してもらったところ次の意見が寄せられた。(資料1)

##### 資料1 学校保健活動推進の養護教諭の意見

- ・組織で動くことが難しい。
- ・組織的活動のセンター的機能・・・一番難しくそこが打破できるような日々の実践ができればすごく楽で(精神的に)楽しい仕事ができるような気がする。
- ・自分で意識して動かないと何もしないまま終わってしまったり、保健計画を確認し、計画的に活動していかないとその場限りの指導となってしまったり次につながっていないと感じている。
- ・職員の理解を得たり、指導の時間を確保することが大変。

寄せられたすべての意見について、KJ法による分類を行ったところ、「計画を生かすための方法」「時間の確保」「子どもの実態把握」「組織の活性化」「職員の共通理解」「養護教諭の力量」などのキーワードが導き出された。これらのキーワードの背景として、学校保健に対する職員の関心の低さ(共通理解がされていない)や「いつ、だれが、何を、どのようにしたらいいのかわかりにくい」(計画性・具体性に欠ける)「各種計画のつながりがわかりにくい」(関連性・系統性に欠ける)などが考えられる。特に「計画性・具体性」「関連性・系統性」のある学校保健活動を行うために「職員の共通理解」を図ることが最重要であると思う。

#### ② 協力校職員を対象とした調査の結果と考察

##### ア 保健計画や経営計画の活用の実態

今年度の保健計画を知っている職員は、35%であり、その中で、毎月の保健計画の指導内容を確認している職員は43%であった。保健計画の具体的な指導内容がわかるについては、おおむねわかる79%、あまりわからない21%であった。

経営計画を知っている職員は30%であり、この

職員は、保健計画も知っていることがわかった。

また、重点目標と具体策については、知っていると答えた職員が少なかった。

これらの結果から、今年度の重点目標や具体策について、職員の共通理解が十分に図れていないことがわかった。協力校の職員は、学校保健活動に協力的であることから、共通理解を図るための方法を工夫することでその充実が図れるのではないかと考える。

##### イ 保健計画活用のための課題

自由記述と聞き取りで調査した結果、次の意見が寄せられた。(資料2)

##### 資料2 希望資料に関する意見

- ・指導の略案やワークシート
- ・教材(学校の教材の有無と保管場所、地域で使える教材や人材)
- ・教室掲示できる資料やリーフレット
- ・保健計画の単元名をクリックすれば、略案が出てくるなどコンピュータの活用
- ・他の保健活動との関連
- ・現在の保健計画の中で月の目標や重点項目を太字にしたりする書式の工夫

中でも、指導案やワークシートを希望する職員が多く、資料作成に時間をとられることや適切な資料が見つけないことなどの現状がわかった。保健指導の必要性を認識しているが、このような現状から指導に自信をもてずにいることが考えられる。その課題解決のためにコンピュータを利用して各自が欲しいときにすぐ見られて、簡単に直せる資料にするなどの工夫を行うことも一案であると思う。

保健室経営については、養護教諭の多忙を気遣う意見がたくさん寄せられた。学校保健活動を推進するためには、養護教諭とのチームティーチングによる授業の実践や指導内容の充実の他、保健計画を年度始めに共通理解し、学年会で指導の時期や方法の確認をするなどの意見があった。

これらの結果から、保健計画により具体的な指導内容を明記するだけでなく、いつ、だれが、何を、どのように指導するかがわかるような内容とすることが重要であると思う。

また、職員会議や学年会で全職員の共通理解を図り、必要な資料を各自が使用したいときにすぐに活用できるような工夫をすることで、保健指導

の充実が図れ、学校保健活動の推進につながると考える。

### (3) 実態調査のまとめ

調査結果から、学校保健推進上の現状と課題として次のことが明らかになった。

#### ① 養護教諭の保健室経営と保健計画・経営計画における現状と課題

- 保健室経営の中で実践の評価が高いのは「健康診断、発育測定などを行う場としての機能」「救急処置や休養の場としての機能」である。
- 保健室経営の中で実践の評価が低いのは「組織的活動のセンター的機能」や「健康情報のセンター的機能」である。
- 経営計画は95%の学校で作成されているが、評価を明記している学校は半数以下である。中でも保健室経営の評価が低い学校は14%しか評価を明記していない現状である。
- 保健計画は、73%の学校で養護教諭が作成している。
- 保健計画の評価を行っている学校は60%であり評価者は養護教諭のみの学校が多い。
- 保健室経営の充実に必要なことは、「経営計画に重点目標や評価を明記すること」「保健計画を職員で共通理解を図ること」「保健計画を意識しながら学校保健活動を実践すること」である。
- 養護教諭が学校保健活動推進上の課題として捉えているものは、「計画を生かすための方法」「時間の確保」「子どもの実態把握」「組織の活性化」「職員の共通理解」「養護教諭の力量」などである。これらを解決するためのキーワードは「計画性・具体性」「関連性」「職員の共通理解」である。

#### ② 協力校職員の保健計画・経営計画活用における現状と課題

- 保健計画・経営計画ともに職員の共通理解が十分に図れていない現状がわかった。
- 職員は、保健計画を年度初めに配付するだけでなく、職員会議などで共通理解を図り、学年会で指導の時期や内容を確認するなどの工夫が必要であると考えている。
- 協力校の職員は、保健計画の資料として略案や教材、ワークシートなどの具体物があるとより指導しやすいつと考えている。また、コンピュータを利用し、必要なときに自分で用意し工夫できるものを希望している。

## 2 実態調査の結果を生かした実践

### (1) 課題解決の方策

調査結果を受け、保健室が組織的活動のセンター的機能を発揮し、全職員で学校保健活動を組織的に推進するためには、経営計画と調整を図った保健計画をより具体化した月別活動シートを作成し、活用したいと考えた。

#### ① 月別活動シートについて

経営計画での保健室経営方針を踏まえ、重点目標や健康課題解決に向けた取組内容を保健計画に明記し、その具体的な活動内容を月ごとに一覧で示したシートである。

調査結果を踏まえ作成の観点として、次の3点を考えた。

#### ○学校保健に関する関心の低さを改善するために職員が共通理解を図ること

- ・保健部職員で情報を共有し、健康課題解決のための方法を検討し、共通理解を図りながら作成する。
- ・職員会議で全職員へ提案することにより、職員の共通理解を図る。
- ・学年会で具体的な指導内容や指導時期、教材などを確認することで、実践に向けた職員の意識を高める。

#### ○いつ、だれが、何を、どのように指導・活動するかを明確にするために、計画的・具体的な内容とすること

- ・書式はA4判横1枚とし、学校保健活動の全体像がみえるものとする。
- ・今月の重点目標に関する具体的な活動内容がわかり、指導・活動内容を確認しながら指導できるものとする。
- ・チェック欄や具体的評価項目を加えることで、進行状況や成果・課題がわかるものとする。
- ・余白をとることで、具体的な活動内容を自由に記録できるものとする。

#### ○つながりを明確にするために関連性のある内容とすること

- ・重点目標を明記し、健康課題解決のための取組を具体的に記入することにより、経営計画との関連を図る。
- ・担任・担任外・養護教諭・児童生徒の具体的な活動内容を一覧表にして、自分の指導内容と他職員とのつながりを意識し、活動につながりができるようにする。

以上を作成の観点とし、職員の共通理解を図り、

具体的・計画的で関連性を意識した学校保健活動の推進を目指した月別活動シートを「みえる」「うごける」「わかる」「つながる」をキーワードに作成した。(図6)

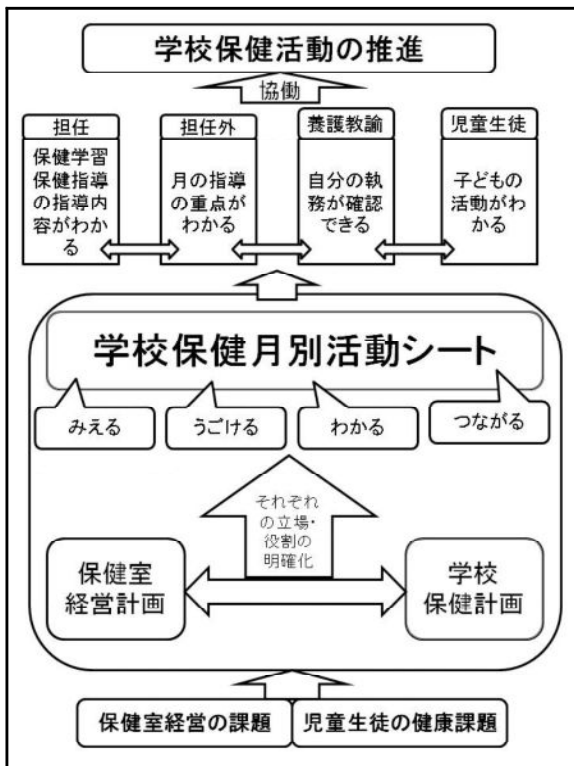


図6 月別活動シートの基本構想図

## ② 参考資料の作成について

調査結果から、保健指導の資料の保管・提供とその活用が保健室経営の充実には重要と考える。

参考資料は、職員の指導内容の共通理解を図り、保健室経営における健康情報センター的機能の役割を果たすためにも重要な役割をもつ。

具体的には、日常的に行う健康チェックカード、保健指導の指導案やワークシートを中心に作成し、必要な教材、教具の保管場所や付属資料の有無について明示する。

また、コンピュータを活用して、単元名をクリックすると指導案にリンクする工夫を行う。詳細な資料を添付することで、発達段階に応じた系統的な指導を促進したり、苦手意識をもった職員でも取組やすくしたりするなど、職員の意識を高めることにつながると考える。

活用した月別活動シートや自作の資料は保健部職員が月末に回収し整理を行う。こういった活動を積み重ね、シートや資料を蓄積することで、学校独自のファイルが作成されることとなる。このファイルの加除修正を繰り返すことで継続的な学

校保健活動を推進することができると思う。

## ③ 月別活動シートの活用について

月別活動シートを養護教諭一人で作成するのではなく、次の3点を期待して協力校の保健部職員で原案を作成する。

○それぞれの立場で捉えている児童の健康課題を出し合い、児童の健康課題を多角的にとらえること。

○役割を明確にして話し合うことで、職員の学校保健に対する意識の向上を目指す。

○実際に使用する職員の意見を盛り込んだ活用しやすいシートを作成すること。

以上のことを踏まえ、養護教諭が基本の枠組みを作成した月別活動シート原案を保健部職員で検討する。

その後、職員会議で提案し、全職員の共通理解のもと、活用することができれば学校保健活動の組織的な推進につながると考える。

## (2) 実践の概要

月別活動シートの活用が学校保健活動を組織的に推進することにつながることを検証し、使用した月別活動シートの修正を加え、より活用しやすいものを作成したいと考え、以下の流れで実践を行った。(図7)

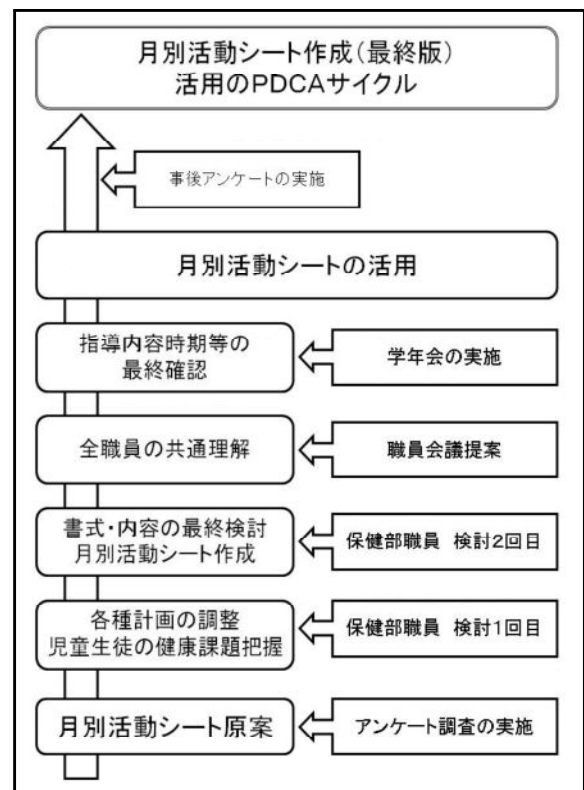


図7 月別活動シート作成の流れ

### ① 実践計画

対象	〇〇市立〇〇小学校職員	
実践内容	事前	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健部職員で月別活動シートの作成</li> <li>・職員会議で月別活動シートの作成と活用についての提案</li> </ul>
	実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1ヶ月間月別活動シートを活用してもらい、学校保健活動の実践を行う</li> </ul>
	事後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動後のアンケート調査の実施</li> <li>・担任、担任外、保健主事、養護教諭などへの聞き取り調査</li> <li>・月別活動シートの修正案の作成</li> </ul>
期間	平成21年10月下旬～11月下旬	
職員数	約20人	

### ② 検証計画

検証の観点	検証の方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健部職員で月別活動シートを作成したり、職員会議で共通理解を図ったりすることは、職員の学校保健に関する意識を高める上で有効であったか。(共通理解)</li> <li>・月別活動シートを用いたことで、重点目標にせまる具体的な活動が計画的に実施できたか。(具体性・計画性)</li> <li>・発達段階を考慮した資料の充実を図ることで、指導の充実につながったか。(関連性・系統性)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き取り調査</li> <li>・アンケート調査</li> <li>・調査用紙の記述</li> </ul>

### ③ 保健部職員での実践の概要

#### ア 話し合い(第1回)

各種計画の見直しや児童の健康課題について、協議を行った。話し合いで出された意見は次の通りである。(資料3)

#### 資料3 保健部職員の話合い結果から(第1回)

- ・計画を見直してみると、保健目標と学級活動内容があっていないところがある。
- ・計画をよく見直して保健目標、学級活動、短学活での指導を同じにすると、より効果的な健康教育の推進ができるのではないか。
- ・計画を並べてみると調整が図れていないことやズレに気が付くことがある。
- ・保健計画の指導内容が学年により偏っている項目がある。
- ・養護教諭とのチームティーチングで取り組むと効果的なのは歯科指導、性教育であると思われる。その他、生活習慣(特に睡眠)指導には養護教諭が入ってもらえるといい。最近、児童の実態から排便の指導も実施していきたい。

これらの意見を生かして、養護教諭とチームティーチングで行う保健指導の内容を保健計画に明記したり、指導内容の偏りを修正した。

#### イ 話し合い(第2回)

月別活動シートの形式を話し合った。(資料4)

#### 資料4 保健部職員の話合い結果から(第2回)

- ・担任外の活動項目は適宜書き加えてもらう。
- ・余裕をもった計画とする。
- ・資料は全体に関わるものと基本的に保健指導の略案と短学活での指導の流れ、ワークシートのみでよい。授業で使うワークシートは実態に合わせて工夫してもらう。
- ・評価項目を最小限にして、メモ欄に活動の記録を残す。

保健主事が中心となり、児童の健康課題から今必要な指導について話し合い、各種計画を見比べながら関連を考えたり、担任や養護教諭の立場で意見を出し合ったりしたことで、お互いの立場を理解し指導や活動内容の共通理解を図ることができた。話し合う中で、「月別活動シートは活動しながら記入して、記録を残していくもの」という考えのもと、活動内容を書きすぎず、余裕のあるものとした。保健主事が「こういう時間が大事だよね」「こういう話し合いがしたかった」と発言したように少ない時間でも翌月の保健活動や児童の健康課題などを話し合う時間を持ち、共通理解が図れ、有意義な話し合いとなった。(図8)

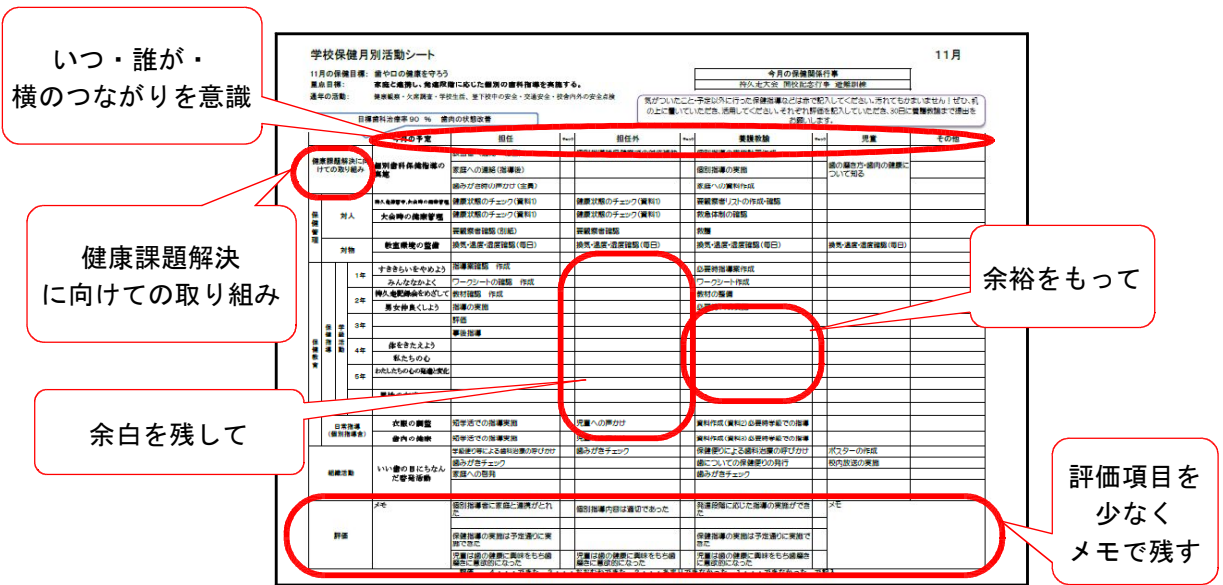


図8 保健部職員で作成した月別活動シート

④ 月別活動シート(11月)の実践の概要

ア 月別活動シートの活用について

○ 活用の経過

保健部職員で作成した月別活動シートを前月の職員会議で全職員に提案した。前月に提案することにより、重点目標や指導内容を全職員が把握し、共通理解を図ることができた。その後、学年会で指導内容、実施時期の確認、教材の整備、他教科や他活動との関連の確認などを行うことができた。

11月の重点課題は歯肉炎の個別歯科指導の実施であった。新型インフルエンザの流行があり、計画の変更をせざるを得なかったが、事前に全職員の共通理解が図れていたため、混乱なく実施することができた。学級活動における保健指導も月別活動シートを活用し、計画通り実施ができた学年が多かった。また、短学活での保健指導では資料やワークシートを用いて、担任が工夫を凝らしながら指導を行うことができた。

○ シートの活用結果

事後アンケートの結果は、重点目標や指導内容、他の職員の指導内容、今月の学校保健活動の成果と課題については、ほぼ全員が「よくわかった」と回答し、全員が「学校保健活動の推進に有効であった」と回答した。

聞き取りを行う中で、自分自身の指導内容を確認できたり、資料を活用できたりし、指導がしやすかったが、他の職員の指導内容などは意識しなかったという声も聞かれた。今回、月別活動シートを初めて使用し、他職員の活動とのつながりを

意識した取組は難しかったが、今後月別活動シートを継続して活用していく中でお互いの活動につながるがもてるように情報交換の在り方などの工夫も必要となる。

月別活動シートについて寄せられた意見を作成の観点に合わせて、具体的・計画的で、関連性を意識した系統的な活動ができ、お互いの意識の向上が図れるよう「みえる」「わかる」「うごける」「つながる」の4つのキーワードで次のように分類した。(資料5)

資料5 月別活動シート使用後の意見

○・・・良かった点 ●・・・改善点

みえる	○月の活動内容が一目でわかってよい。 ○一覧になっているので全体の様子がみえる。 ●やや細かすぎる。簡潔明瞭なものがない。
うごける	○今月の重点目標がわかりやすく、朝の会や学活指導に生かすことができた。 ○自分が指導を行う際の資料が添付されていたので、担任だけでも充実した指導を行うことができた。 ○担任が行うことが明確になっているので、担任がしなければいけないことがよくわかり助かった。 ○指導上とても有効なものである。 ○指導内容がよくわかり、意識して指導にあたる ●不測の事態(感染症などの流行など)に対応できるシートや欄があってもよい



わか か る	<p>○全体の様子がわかりやすい。</p> <p>○月別にどんなことをしたらよいか把握しやすい。</p> <p>○担任として、やるべきことが具体的に書いてあるのでわかりやすい。</p> <p>●意識的にこれを見るためにはどうすればいいか。</p>
つ な が る	<p>○各学年ごとの系統性と養護教諭との横のつながりが一目でわかった。</p>

全体的にわかりやすいという意見が多かったが、教職経験年数の多い職員から「やや細かすぎる」「簡潔明瞭なものがいい」などいくつかの改善点をいただいた。

### イ 資料の活用について

特に短学活で使用する保健指導の指導の流れやワークシートが好評であった。ワークシートは児童が自分の生活を振り返るためのチェック項目を作ったり、イラストを入れたりしたことで児童の関心の高めることができ、意欲的に取り組むことができた。簡単な指導の流れを教師用のプリントとして作成した。児童の発達段階を考慮し指導内容に工夫を加え、短学活での保健指導のワークシートを1時間の保健指導に活用した担任もいた。また、単元名をクリックすると資料が自由に取らせる工夫も好評であった。

養護教諭からは、「今回の個別歯科指導のように事前に共通理解が図れ、計画や資料が整理され

ていると多忙で準備ができないという事がなく、計画的に実践ができる」という意見をいただいた。その他に必要な資料としては、簡単なリーフレット、児童に提示できる写真や資料などがあがった。

### ⑤ 実践のまとめ

今回の実践で、月別活動シートを活用し学校保健活動を組織的に推進するためには、次の3点が特に重要であることがわかった。

○月別活動シートは作成段階で、保健部職員間で話し合いをもち、自校の健康課題・児童生徒の実態・学校規模や職員構成などを考慮し、作成する。

○職員会議で提案することで全職員の共通理解を図り、活用する。

○実践した職員の評価や意見を集約し、改善につなげていく。

## 3 学校保健活動を組織的に推進するための工夫

### (1) 月別活動シートの形式と内容について

月別活動シートの活用は、学校保健活動を推進していく上で、担任や担任外が自分の活動や指導内容がお互い「みえる」「わかる」「うごける」「つながる」ことができ、有効であった。

しかし、より使いやすいものとなるように職員の意見から以下の改善を行った。(図9)

○項目の字を大きくする。

○横に自由に書き込める欄を作り、学級活動や短学活で指導した内容を記入する。

○他教科との関連を示す。

○計画を大幅変更したときの記入欄を作成した。

図9 月別活動シート最終版

## (2) 月別活動シート活用のPDCAサイクル

保健部職員が中心となり、月別活動シートを次のようなPDCAサイクルで活用すると学校保健活動の組織的な推進が図れると考えた。(図10)

### ○ PLAN

保健部職員で話し合いをもち、月別活動シートの原案を共通理解を図りながら作成する。

### ○ DO

職員会議で月別活動シートを配布し、次月の重点目標と学校保健活動を提案し、全職員の共通理解を図る。

### ○ CHECK

学年会にて指導内容を確認し、実施時期、教材、教具、ワークシートなどの確認を行う。

### ○ ACTION

月別活動シートに実践したことや気が付いたことをその都度記入する。実際に使用したワークシートや指導案なども一緒に整理して、職員会議で翌月の提案を行うと共に、当月の実践状況の確認を行う。月末に評価や実践メモを記入した月別活動シートを回収し、評価と実施状況をまとめる。

前月の評価のまとめを受け、成果と課題の確認をする。結果を保健部職員で検討し、職員会議で報告する。次月や次年度の計画時に修正が必要なものを整理しておく。

この作業(評価・調査→計画→実践→評価→改善)を毎月繰り返し行い、1年間のまとめを行う。

1年間のまとめを行うことで、自校の学校保健ファイルとなる。このファイルを、改善を図りながら次年度の計画に生かしていくことで、学校独自の月別活動シートを活用した学校保健活動の推進を図ることができる。

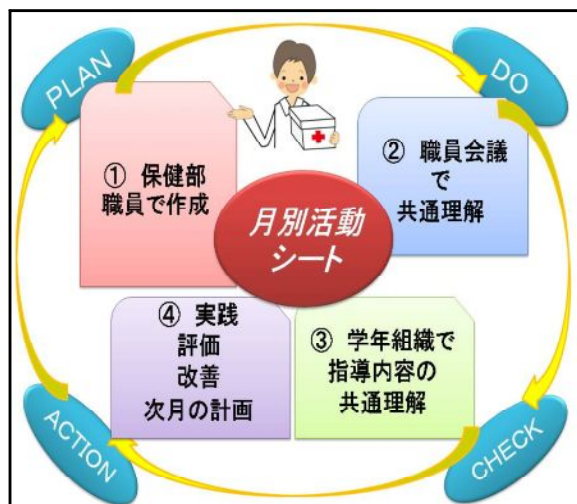


図10 月別活動シート活用のサイクル

## V 研究のまとめ

### 1 成果

本研究では、学校保健活動の組織的な推進を目指し、養護教諭や職員に保健室経営・保健計画及び経営計画の実態を調査を行い、その課題解決のための方策を探った。方策として、職員の共通理解を図り、保健計画を具体化した月別活動シートを活用した実践を行った。実践を通して、次のことが明らかになった。

○月別活動シートを活用することで、月の重点目標や自分の役割、指導内容が具体的になり、職員が関連をもった計画的な学校保健活動の推進ができた。

○月別活動シートを保健部職員で作成し、職員会議で全職員の共通理解を図り、学年会で実施時期や指導内容、教材の確認を行うことなどの活動を通して、職員の意識の向上を図ることができた。

○各種資料を添付することで、担任は、発達段階に応じた系統的な保健管理や保健教育を計画的に実施することができた。

### 2 課題

○組織的な学校保健活動の推進には、職員の共通理解を図ることが重要である。特に保健部職員を中心とした活動の活性化を図り、職員の学校保健活動に関する意識の向上を目指す必要がある。

○今回は、1ヶ月のみの実践であったが継続的な活動とするためには、月別活動シートを配付、回収するだけでなく、結果をまとめて活用することで生きた資料としていく必要がある。

○使用した資料や教材などはそのままになってしまふことが多いので、実際に指導に使用した自作資料や教材を一括管理したり、コンピュータを用いた各種資料の収集と整理を行ったりすることで、より発達段階に応じた系統的な指導を目指す必要がある。

### <参考文献>

- ・森 照三 著『変革期の養護教諭』(2002)
- ・『学校保健活動推進マニュアル』財団法人 日本学校保健会
- ・石川県養護教育研究会 編『新版・養護教諭職務のてびき 第8版』(2009)